



(1) 3つの学問分野

人文科学 (Humanities) は歴史、文学、宗教、哲学、コミュニケーションの学びを通して「人間」の心や行動、生活で起こることについてさまざまな観点から探求する。社会科学 (Social Sciences) は国際関係、国際政治、法学、社会学のほか、国際機関や持続可能な開発について考え、社会と個人の関係を探求。ビジネス・経済学 (Business & Economics) は、マーケティング、ミクロ経済、マクロ経済、経営戦略、国際経済などを通して、企業活動の原理や仕組みをひもとく。世界標準の授業をオールイングリッシュで受けるグローバルスタディとなる。

(2) メタバースの実装

最新鋭の機器を備えたVR (仮想空間) の演習室「Hello, World」では、大型LEDビジョンやヘッドマウントディスプレイ、フルボディスキャナーにより、メタバース空間での新しい学びを創出。世界中の人々とのミーティングやゲスト講演など、リアルとバーチャルの境界を超越した次のコミュニケーションのかたちが、ここから生まれる。

(3) 日本語教員の不足

国内の日本語学習者数は、2019年時点で約28万人と過去最高を記録。今後も増加が見込まれる一方、日本語教師の数は約3万人で推移しており、圧倒的に不足している。質と量の向上が求められる中、日本語教員を国家資格に認定する法整備が進められることとなり、日本語教育の拡充を推進する国の姿勢を示すものとして話題になった。

(4) Super IES (Intensive English Studies) プログラム

留学先大学で専門分野を学ぶ際に必要となる英語力とアカデミックスキルを鍛えるプログラム。英語教育の分野で定評のあるノーステキサス大学、アラバマ大学など協定大学の知見を融合し、共同開発した。このプログラムを修了すれば、海外大学が設定するレベルをクリアし、学士課程の授業に対応できる。授業はすべて、協定大学の外国人教員が担当。

●24年4月、短期大学部に「未来キャリア英語学科」が誕生
英語教育と多彩な留学プログラム、そして実用的な資格の取得支援で、夢をカタチにする。資格は、秘書士、ビジネス実務士、観光実務士などが対象。2年間で確実に夢に近づく。

グローバル人材を育成する環境と教育内容



国際日本学科では、高度な英語運用能力を有し、日本語・日本文化に精通したグローバル人材を育成します。カリキュラムでは、関西外大ならではの高度な英語運用能力の修得を前提に、日本語も世界の中の諸言語の一つとして捉え、スキルを磨きます。具体的には、グローバル社会で求められる実践的な英語運用能力を身に付けるため、少人数の習熟度別クラスできめ細かな英語教育を展開。英語4技能の向上に加え、コンテンツ・ペースト・ラーニングにより、「日本語」をトピックとした英語文獻講読による読解力や文章表現力、プレゼンテーションやディスカッションなどの高度な英語コミュニケーション力を養成します。外国人材を登用する企業や教育・行政をはじめとする地域コミュニティでは、彼らが日本の就労や生活にスムーズに順応できるようサポートする人材が求められています。また、母語が日本語ではない人々に日本語を教える、専門的な知識を持つ

た人材が圧倒的に不足しています。国際日本学科では、今後こうした需要の拡大が見込まれる「英語×日本語×文化・社会」の教養を備えた人材の育成を目指します。2025年春、英語国際学部にて誕生するのが「アジア共創学科」です。アジアの国々は今、急速に成長し、欧米に代わって世界経済の中心を担おうとしています。今後は日本でも、周辺各国の多様な人々との相互理解や協働が欠かせません。本学科では、異なる文化や価値観、宗教など、アジアからの国際学生との共修を通じて、互いの違いを受け入れ、認め合うことの意義を学びます。また、多様性と連携の重要性を理解し、新たな価値を生み出す力を身につけることが目標です。そのため、ビジネスに役立つ社会科学系の科目を数多く設置。成長を続けるアジアの経済や地域文化についての知識と教養を深めます。

さらに、関西外大独自の英語教育プログラムで、ビジネスレベルの英語運用能力を養うとともに、韓国語やタイ語など興味のあるアジアの言語を選択して修得。それぞれの国の文化・社会についても学びます。希望者は2年次からアジア諸国(韓国・ベトナム・タイ・中国)に、1学期間の語学留学が予定されており、実践的な学びを通してアジアの文化・社会・ビジネスに精通したグローバルリーダーを育成します。

グローバルな課題解決に語学+αの教育を展開

さまざまな問題が複雑に絡み合い、1つの視点からでは解決できない課題が山積する今日において、関西外大では「語学+α」の教育を重視しています。留学は、プラスアルファを醸成する体験として重要な役割を担うものです。留学前には海外協定大学と共同開発した英語教育プログラム「Super IESプログラム」で、リサーチペーパーの書き方やプレゼンテーション方法など、海外大学で通用するアカデミックスキルを養っています。

関西外大には文化や言語の壁を超えた「実体験」の機会が豊かに用意され、まさに「キャンパスは、ちきゅう」という言葉を体現するものです。4年間、さまざまな国の人々と出会い、語り合うなかで、自分らしさや夢、新たな志を見つけることができるでしょう。



1945年の創立以来、「国際人の育成」と「実学教育」の実践を柱に、教学改革に取り組んできた関西外国語大学。世界55カ国・地域の405大学に広がる留学ネットワークと先進的な教育プログラムをベースに、「外国語で学ぶ」時代を切り拓く、新しい学びを追究しています。急激な変化を見せる世界情勢をはじめ、今日の社会は多くの課題に直面していますが、予測困難な時代であるからこそ、多様な背景を持つ人々と協働しながら、未来を創り出すことのできる人材が求められているのです。関西外大ではこれからも、「世界」という大きなステージで無限の可能性を広げ、活躍することのできるプロフェッショナルを育てていきます。

関西外国語大学

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 入試部 TEL 072-805-2850 <https://www.kansai.gaidai.ac.jp/>

「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学」という建学の理念のもと、1968年にはいち早く海外の大学から教員・学生を受け入れるなど、進取の気性に富み、時代の先を見据えた進化を遂げてきた関西外国語大学。来春は英語国際学部、世界の持続的発展に貢献できるリーダーを育成するアジア共創学科が誕生します。

オールイングリッシュで世界の人々と協働する「国際共生学部」

国際共生学部では外国人教員を中心とした国際通用性の高い専門教育と、全授業科目オールイングリッシュによる学修や、外国人留学生と日本人学生が肩を並べた共同学修を展開。高度な英語実践力、異文化理解力、主体性を基盤とする地球市民としての資質や能力を養成することで、予測困難な多文化共生時代において新たな価値を創造する人材の育成を目指します。

カリキュラムでは、1年次から英

語力を徹底的に鍛え、2年次以降は「人文科学」「社会科学」「ビジネス・経済学」の3つの分野から幅広く履修。多角的な視点でグローバル社会の課題にアプローチします。留学生とともにプロジェクトに取り組み、グローバル市民としての姿勢やマインドを養います。

3年次には1年間の「グローバルチャレンジ留学」が用意され、海外協定校で授業を受けるだけでなく、学生があらかじめ設定した社会課題の解決に向けた課外活動やボランティア、インターンシップも体験。実践の場で知識を体系化します。そして4年次にはグループで社会課題の解決に向けたプロジェクトに取り組み、プレゼンテーションや論文の形で発表します。学科独自の多彩な体験型学習 (Experiential Learning) により、世界の人々と協働し、新たな価値の創造へとつなげる力を育てます。

英語×デジタルのハイブリッド人材を育成
「外国語学部英語・デジタルコミュニケーション学科」

デジタル技術の活用が前提となる現代社会では、デジタルスキルは必須と言えます。外国語学部の英語・デジタルコミュニケーション学科では、「英語×デジタル」のスキルにフォーカスした先進のカリキュラムを展開します。

デジタル分野では、最新のスキルとリテラシーの基本を「英語で」学びます。グラフィックデザインやプログラミングなどデジタルアートの技術に触れたり、学習にメタバースを実装したり、ユニークなカリキュラムでハイブリッドなスキルを磨いていきます。デジタル領域にとどまらず、諸外国の歴史や文化など、幅広い国際教養を学び、グローバルスタンダードな感覚を養う4年間を通じて、卒業後のキャリアには多国籍企業やスタートアップ企業、総合商社などが想定されます。英語×デジタルに長けた人材の需要が世界的に高まっていく中で、活躍の場は多方面に広がっています。

日本の「すごい」を世界に発信
「国際日本学科」

2024年春、外国語学部に新たに開設されたのが「国際日本学科」です。

日本には、独自の伝統文化からマンガやアニメ、ファッションなどのポップカルチャーまで、世界に誇る「すごい」が数多く存在しています。それらを海外に広く発信するため、

外国語大学という名の総合大学——。あらゆる専門分野を「外国語で」学び、国境を越えて活躍できるスキルを養う